

令和8年度 菅田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

・神奈川区北西部の地域特性として、坂道が多く交通の手段が限られている。菅田町の特徴として、区域の約半分が市街化調整区域となっているため、開発が制限され、緑豊かな環境が維持されている。また、市街化調整区域の特性もあり、高齢者施設や障害者施設が多く開設された「福祉施設の町」の側面を兼ね備えている。

・神奈川区の人口は、2025年3月現在では245,779人、そのうち65歳以上の人口は53,740人と区全体の約6.48%である。これに対し、菅田町の人口は15,926人、そのうち65歳以上では4,796人と割合は約30.11%である。神奈川区の中でも高齢化が進行している地域である。一方で、若い世代の転入が増えている地域でもあり、施設入所者も含めた多世代が交流できる機会を創出することが重要である。

・菅田町では高齢者の多くが独居や高齢者夫婦の世帯になりつつある。また、精神的障害を抱える子供や、障害に関する相談や支援の必要性が増えている。ひとりひとりに対し必要なサービスを提供するために身近な相談者としての役割が求められている。

・自治会や町内会、民生委員などからの情報を得て、地域のニーズを把握に努めている。高齢者が多い団地では買い物やゴミ出し等、移動支援やボランティアが地域のニーズとして求められる。地区社協や福祉施設、区役所と現状の課題を共有しつつ、支援につなげていく必要がある。また、現状の社会資源では解決できない潜在的な問題を抽出することが、地域で支え合える仕組みにつながると考えています。

・菅田町では、高齢化の波は担い手不足と、担い手自身の高齢化が課題である。特に地域を支える自治会、団体活動の支援者やボランティアの担い手として、地域の若者から人材発掘・育成することが重要である。

・JAGESや地域診断の結果から、菅田地区では閉じこもりによるフレイルや認知症の増加が著明である。外出や社会参加の機会が減少していることが要因の一つと考えられる。地域住民が参加し易い環境を整えることが必要で、介護予防体操の「はまちゃん体操」や「編み物教室」、「折り紙教室」などの気軽に参加でき、身近な場所で運動や交流の機会を作り上げていくことが必要である。自治会や町内会と協働し、地域の実状に合わせた展開で無理なく参加できる場を継続していく必要がある。

・横浜市チームオレンジ事業では、喫茶サロンや食事会の既存の交流活動に、認知症の地域住民やその家族が自然に参加できる環境の整備を行う。区や関係団体ボランティアと連携しながら認知症への理解を促し、受け入れ体制の強化を図る。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	1-(1) ② 相談・支援 ・サロンなど地域活動の場で、把握した利用者の情報を適宜「ききとりシート」に落とし込み職種間で共有していく。 ・本人の趣味や関心を活かした集いの場づくりや活動につながるよう支援する。
☐	☒	1-(2) ⑤ 地域アセスメント ・菅田・羽沢福祉施設連絡会の移動支援部会に参加し活動にまつわる課題解決に関わっていく。 ・新たなニーズに関しても具体的な取組み内容を検討していく。
☐	☒	1-(4) ⑭ 社会資源の開拓・開発・支援 ・学生を対象としたボランティア体験の機会を拡充する。学校との連携により福祉教育や体験学習を実施し、ボランティア活動のきっかけ作りや参加意欲を高める仕組みを整える。将来的な地域の担い手育成を視野に入れた継続的な取り組みを行う。
☐	☒	1-(8) ③⑩ 区行政との協働 ・介護予防体操である「はまちゃん体操」「かめ亀手ぬぐいサイズ」について、自治会町内会で定期的実施し、地域住民が気軽に参加出来る場や運動出来る機会を創出していく。また、実施にあたっては、区とも協働していく。
☐	☒	2-(1) ③⑤ 認知症支援事業 ・地域で開催されている喫茶サロンや食事会などの既存の交流活動に、認知症の人や家族が自然に参加できる環境を整備していく。また、関係団体のボランティアと連携し、認知症の理解促進や受け入れ体制の強化を図る。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント

令和8年度菅田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	部門に関わらず事業所等を選定する時は、一覧表・リストを提示し利用者を選択してもらうようにする。	・ 横浜市の事故報告書を職員全体で共有することで、再発防止につなげていく。 ・ 事故報告書・ヒヤリハットの提出を確実にやっていき、職員全員で共有し再発防止に努める。 ・ 個人情報に関する誓約書を全員に提出してもらい、個人情報保護について確認してもらう。 ・ 個人情報・コンプライアンス研修を実施する。 ・ 備品管理簿の整理、指定管理者所有と市所有を区別する。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用し目標の達成に向けた計画を作成する。	・ インフォーマルサービスを含め、利用者本位のケアプランを作成する。 ・ 医療と介護の強化・推進を図り、入退院時の情報交換・共有を行う。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	地域包括支援センター 看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・生活支援Co	3人体制(うち1名管理者を兼任)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	研修の受講や勉強会を通じて、専門的な知識の習得を行い、利用者に安心・安全に過ごして頂けるように努める。又、感染対策予防を十分に行っていく。	研修会や勉強会を通して認知症高齢者ケアの理解を向上させ、家族や地域に信頼されるサービスを提供していく。又、感染対策予防を十分に行っていく。	
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 40名	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 10名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 昼食代 750円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】 昼食代 750円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者1名(兼任)、生活相談員6名、看護師4名、介護15名、その他11名	管理者1名(兼任)、生活相談員6名、看護師4名、介護15名、その他11名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和8年度「菅田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜（参考）地域活動交流＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	26,335,758	0	26,335,758	0	26,335,758	横浜市より
内 受領額	26,335,758		26,335,758		26,335,758	
内 戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他	2,207,500		2,207,500		2,207,500	
収入合計	28,543,258	0	28,543,258	0	28,543,258	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	16,097,258	0	16,097,258	0	16,097,258	法人経費は含まれていません
内 本俸	13,300,000		13,300,000		13,300,000	
内 社会保険料	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
内 手当計	200,000		200,000		200,000	
内 健康診断費	40,000		40,000		40,000	
内 勤労者福祉共済掛金	210,000		210,000		210,000	
内 退職給付引当金繰入額			0		0	
内 その他	447,258		447,258		447,258	
事務費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	法人経費は含まれていません
内 旅費	50,000		50,000		50,000	
内 消耗品費	400,000		400,000		400,000	
内 会議開い費	20,000		20,000		20,000	
内 印刷製本費	40,000		40,000		40,000	
内 通信費	400,000		400,000		400,000	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支			0		0	
内 戻 その他			0		0	
内 備品購入費			0		0	
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険	20,000		20,000		20,000	
内 職員等研修費			0		0	
内 振込手数料	10,000		10,000		10,000	
内 リース料	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
内 手数料			0		0	
内 地域協力費			0		0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他	60,000		60,000		60,000	
事業費	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	法人経費は含まれていません
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）			0		0	
内 その他	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
管理費	7,472,000	0	7,472,000	0	7,472,000	法人経費は含まれていません
内 光熱水費	4,600,000		4,600,000		4,600,000	
内 清掃費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
内 機械警備費	120,000		120,000		120,000	
内 設備保全費	550,000	0	550,000	0	550,000	
内 空調衛生設備保守	250,000		250,000		250,000	
内 消防設備保守	30,000		30,000		30,000	
内 電気設備保守	40,000		40,000		40,000	
内 害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	210,000		210,000		210,000	
内 共益費			0		0	
内 その他	1,002,000		1,002,000		1,002,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 戻			0		0	
支出合計	28,543,258	0	28,543,258	0	28,543,258	
差引	0	0	0	0	0	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主企画事業費 支出	0	0	0	0	0	
自主企画事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和8年度「菅田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,417,233	0	29,417,233	0	29,417,233	横浜市より
内 受領額	29,417,233		29,417,233		29,417,233	
戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,409,310	0	6,409,310	0	6,409,310	横浜市より
内 受領額	6,409,310		6,409,310		6,409,310	
戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
戻 自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	149,500		149,500		149,500	
収入合計	36,160,043	0	36,160,043	0	36,160,043	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,052,043	0	31,052,043	0	31,052,043	法人経費は含まれていません
内 本俸	25,000,000		25,000,000		25,000,000	
社会保険料	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
手当計	800,000		800,000		800,000	
健康診断費	55,000		55,000		55,000	
勤労者福祉共済掛金	550,000		550,000		550,000	
退職給付引当金繰入額	647,043		647,043		647,043	
その他			0		0	
事務費	2,213,000	0	2,213,000	0	2,213,000	法人経費は含まれていません
内 旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	170,000		170,000		170,000	
会議随時費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信費	220,000		220,000		220,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
戻 その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000		30,000	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料	1,658,000		1,658,000		1,658,000	
手数料	15,000		15,000		15,000	
地域協力費	20,000		20,000		20,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
戻 印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
事業費	964,000	0	964,000	0	964,000	法人経費は含まれていません
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】			0		0	
自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】			0		0	
自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】			0		0	
自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】			0		0	
その他	334,000		334,000		334,000	
管理費	805,000	0	805,000	0	805,000	法人経費は含まれていません
内 光熱水費	456,000		456,000		456,000	
清掃費	200,000		200,000		200,000	
機械警備費	30,000		30,000		30,000	
設備保全費	119,000	0	119,000	0	119,000	
空調衛生設備保守	60,000		60,000		60,000	
消防設備保守	5,000		5,000		5,000	
内 電気設備保守	10,000		10,000		10,000	
戻 害虫駆除清掃保守	4,000		4,000		4,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	40,000		40,000		40,000	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	法人経費は含まれていません
内 印刷	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
支出合計	36,160,043	0	36,160,043	0	36,160,043	
差引	0	0	0	0	0	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0
自主企画事業費 支出	0	0	0	0	0
自主企画事業 収支	0	0	0	0	0

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：菅田地域ケアプラザ

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1,738,000		1,738,000	22,414,000		22,414,000	76,637,000		76,637,000	24,168,000		24,168,000
	その他	0	0	0	451,000	0	451,000	15,929,000	0	15,929,000	4,400,000	0	4,400,000
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	利用者収入			0			0	9,179,000		9,179,000	2,900,000		2,900,000
	利用者食事費収入			0			0	6,750,000		6,750,000	1,500,000		1,500,000
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	451,000		451,000			0			0
	収入合計(A)	1,738,000	0	1,738,000	22,865,000	0	22,865,000	92,566,000	0	92,566,000	28,568,000	0	28,568,000
支出	人件費	2,458,480		2,458,480	18,286,000		18,286,000	75,343,900		75,343,900	16,940,100		16,940,100
	事務費	109,560		109,560	754,000		754,000	7,688,100		7,688,100	3,294,900		3,294,900
	事業費	181,920		181,920	451,000		451,000	12,546,800		12,546,800	5,377,200		5,377,200
	管理費			0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	支出合計(B)	2,749,960	0	2,749,960	19,491,000	0	19,491,000	95,578,800	0	95,578,800	25,612,200	0	25,612,200
収支 (A)－(B)		-1,011,960	0	-1,011,960	3,374,000	0	3,374,000	-3,012,800	0	-3,012,800	2,955,800	0	2,955,800

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和8年度 自主企画事業(指定管理事業)計画書・報告書

■ 事業					■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）					4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）						7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	ケアプラザ登録グループ代表者連絡会	平成12年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館利用登録団体の代表者が一堂に会し、地域の現状や活動上の課題等について意見交換するとともに、ケアプラザから各種情報の提供を行う機会として開催する。	5:地域			0	0	0	0
2	中学生ボランティア支援事業	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の支えあいの大切さを意識づけ、地域の新たな担い手となるきっかけを作るため、近隣地域の中学生を対象に、年間を通してボランティア活動の機会を提供する。	4:子ども・青少年			0	0	0	0
3	在宅支援ボランティア団体支援	平成24年度	5:共催（1と3）	1:優先的に取り組み	23年度の「こんにちはボランティア講座」を契機に発足した『菅田安心ボランティア』の活動支援を行う。	5:地域			0	0	0	0
4	神奈川区こども支援事業「ComeComeひろば」	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ひとり親家庭や共働き家庭で夜ひとりで過ごすなど、課題を抱える子供たちが安心して過ごすことのできる居場所づくりをすすめ、子供たちの成長を身近な地域で支援することを目的とする。	4:子ども・青少年			0	0	0	0
5	すげたふれあい喫茶室	平成25年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	閉じこもり予防等を、目的に地域のあらゆる人が通える場、活動できる場を地域の関係団体と協働で提供する。	1:高齢者	5:地域		0	0	0	0
6	子育て支援事業「ふれあいおやこひろば」	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の乳幼児親子のふれあいを目的とし、子育て支援事業として地域のボランティア団体「すげたおやこひろば」との共催で開催する。	3:養育者及び乳幼児			0	0	0	0
7	障がい児・者余暇支援事業「フレンズ菅田」	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	菅田町近隣の障がい児者を対象に、休日の余暇支援を行う。	2:障害児・者			0	0	0	0
8	菅田・羽沢地区福祉施設連絡会（連絡会議・研修会）	平成22年度	4:共催（1と2）	2:発展させるねらい	菅田・羽沢地区に所在する38福祉施設の連絡会事務局として、連絡会議と研修会を開催し、各施設の課題の共有・検討ならびにその解決を図る。	6:事業者			0	0	0	0
9	菅田・羽沢地区福祉施設連絡会（幹事会）	平成22年度	7:共催（1と2と3）	2:発展させるねらい	菅田・羽沢地区福祉施設連絡会の代表者が集まり、地域への地域貢献の検討を行う。具体的に移動支援については別途協議する。	6:事業者			0	0	0	0
10	ボランティア講座	平成27年度	5:共催（1と3）	2:発展させるねらい	地域で活動できる人材の育成を目的とし、ボランティアについて理解を深めていただき、地域活動の担い手として活動して頂く事を目指す。	5:地域			0	0	0	0
11	輝け菅田の子フェスティバル	平成22年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもとその保護者がフェスティバルへの参加を通して、地域の方々と交流を図ることを目的とする。実施にあたっては、地域の関係機関・団体が協働することにより、地域ぐるみでの子育て支援と交流を図るとともに、高齢者や障がい者等を招待し、地域の世代間交流。	4:子ども・青少年			0	0	0	0
12	みんなde子育てワイワイパーク	令和7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の乳幼児親子のふれあいを目的に、保育士による地域子育て支援事業を、神奈川区保育所子育て支援連絡会との共催で開催する。	3:養育者及び乳幼児			0	0	0	0
13	かなづチ子育て応援タイム	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児親子が子育てに役立つ情報を得られる場として、地域子育て支援拠点「かなづち」和菅田地区センタと共催で開催する。	3:養育者及び乳幼児			0	0	0	0
14	年末大掃除・利用団体交流会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ利用団体と職員との交流、また、団体同士の交流を目的とし、年1度普段使用している貸館の部屋の大掃除を全体で協力して実施。大掃除後は交流会としてケアプラザの役割の周知や団体同士の情報交換を行う。	5:地域			0	0	0	0
15	すげたふれあいまつり	平成12年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の身近な相談窓口・活動拠点としてのケアプラザの周知とケアプラザ登録団体の活動内容とその成果を披露する場として開催する。より多くの地域住民に参加してもらえるように地区センターと共催で開催する。	5:地域			0	0	0	0
16	つながりサポーターズ	平成24年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	3区4地域ケアプラザが共催し、各ケアプラザ圏域におけるインフォーマル資源（子供の居場所等の活動）をまとめた冊子の作成・周知することで地域資源の見える化を図る。また、SSWとの連携体制を構築し地域の学校との関係性を深めることを目指す。	4:子ども・青少年			0	0	0	0
17	ほっとサロンシュガー	平成30年度	4:共催（1と2）	2:発展させるねらい	障害のある方が地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう集まれる、仲間づくりや社会参加を促して行くことを目的にサロンを開催。	2:障害児・者			0	0	0	0

■ 事業					■ 事業の性質					■ 主な対象者、従たる対象者				
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児						
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3			2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者						
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他								

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
18	認知症サポーター養成講座	平成24年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	認知症に対する正しい理解を広め、地域全体で認知症の人やその家族を支える意識を高め、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。	5：地域			0	0	0	0
19	認知症カフェ	令和8年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症の人及びその家族が安心して交流できる場を提供し、認知症に関する理解の促進と地域における支え合いの体制づくりを図ることを目的とする。	5：地域			0	0	0	0
20	成年後見・遺言・相続無料相談	平成23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	成年後見制度に関わる専門職と連携し、成年後見制度や権利擁護の普及啓発を図る。	5：地域			0	0	0	0
21	出前講座	平成23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域に出向き講座を行うことで、地域包括支援センターの周知・啓発に取り組む。	5：地域			0	0	0	0
22	ライフデザインノート活用講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢になっても安心して暮らせるよう、終活事業を通して高齢者の権利擁護に関する普及啓発に努める。	1：高齢者			0	0	0	0
23	サロン連絡会	平成29年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	地域の複数個所で継続的にサロン運営がされている。それぞれの地域性や立ち上げのきっかけや経過など特性を加味して、担い手自身が現状の活動のふりかえりや課題の検討、今後の方向性について意見交換し、関係機関と協働していけるよう共有していく。	1：高齢者			0	0	0	0
24	あおぞら盆踊り	令和3年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	屋内外の地域資源を活かした会場で気軽な参加スタイルを趣旨とし、フレイル予防と住民活躍の場づくりを地域住民とともに推進していく。	1：高齢者	5：地域		0	0	0	0
25	詩吟教室	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	高齢者同士の交流促進と、発声することで呼吸機能を向上させ介護予防に努める。	1：高齢者			0	0	0	0
26	ひるラジ	令和3年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	短時間でも取り入れやすいフレイル予防の習慣として地域住民と日常的な取組を継続し健康意識を高めていく。	5：地域			0	0	0	0
27	麻雀サロン	令和元年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	普段外出機会の少ない住民を対象に麻雀を通して交流を行う。参加者の状態に応じて送迎実施できるようにボランティアと連携していく。	1：高齢者	5：地域		0	0	0	0
28	童謡教室	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	加齢とともに口腔機能の低下は進行している。また独居の方も多く中で、合唱を通して、肺活量の促進や交流を行う。	1：高齢者			0	0	0	0
29	ハマトレ脳トレ体操	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	運動（ハマトレ）と頭の体操（脳トレ）を組み合わせ、心身の活動化を図り、フレイル状態の予防・改善を目指す。	1：高齢者			0	0	0	0
30	やさしい編み物教室	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	手芸好きなボランティアが講師となり、手袋づくりから編み物教室を開催した。参加者同士が交流を持ちながら、作品作りを行うことで、認知症予防に取り組む。	1：高齢者			0	0	0	0
31	折り紙教室	令和8年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	折り紙を通じた介護予防と住民同士の交流の場を継続的に設けていく。対象は幅広く、認知症（進行）予防、引きこもり防止につなげる。	1：高齢者			0	0	0	0